



就農体験を通して 食品ロスについて学ぶ

食品ロス問題に関心を持つ都市部の学生4名が、5日間に渡って南区の(有)白根グレープガーデンと(有)戸頭農場にインターンシップを行い、農産品の収穫・選果・販売支援を行いました。食品の生産から販売までを経験することで、その過程で発生する食品ロスや削減への取り組みについて学びました。

参加学生の旅費や宿泊費は、ロスの危機に瀕した食品を救う通販サイト「Kuradashi(クラダシ)」の収益から支援されました。



詳細は市HPに掲載しています

参加後の変化

スーパーで果物を見たときに真っ先に高いと思うのではなく、農家さんの苦労を考えると安いのではないかと思うような心境の変化がありました。

立教大学4年 川原紀春さん

農家の方々との関わりを通じて

スーパーに並ぶ食品のその裏にある、作る人の思いや苦労を意識するようになりました。

立教大学4年 沼澤由芽さん

食品ロスの考え方

農家さんの話で特に印象に残ったのは、自分も含め消費者の意識がフードロスや農業の課題解決のカギを握っているということ。私も無意識のうちに常に新鮮なものより安いものを追い求めているように感じ、はっとさせられました。新鮮さや安さは魅力的ではありますが、自身のその追求は過度になっていないか、一度立ち止まって考えるきっかけを得ることができました。

名古屋大学4年 林 航太郎さん



実証事業

フレッシュフードシェアにご協力ください ～食品ロス削減&こどもの居場所づくり～

小売店や農家さん、家庭菜園で余っている野菜などの寄付を受け付け、こども食堂へ提供します。



皆様からの寄付をお待ちしています



みずき野キャンパス



雪冷房施設(雪室)

●受付期間

令和4年12/7(水曜)、8(木曜)
9:30～11:30

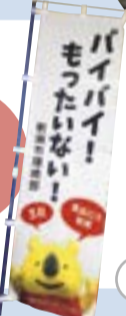
●受付食品
野菜・米など



●実施拠点 新潟国際情報大学

- みずき野キャンパス
西区みずき野3丁目1番1号
雪冷房施設(雪室)
- 新潟中央キャンパス
中央区上大川前通7番町1169番地

直接お越しください



当日はこのほりが目印!

子ども食堂への配付期間
令和4年
12/9(金曜)
9:30～11:30



詳細は市HPに掲載しています

問い合わせ | 循環社会推進課 ☎025-226-1391



環境課題にこのまちで取り組む。

われら、ONEカンパニー
Official Niigata Eco vol.15

環境優良事業者認定された会社の取り組みをご紹介します

3R推進部門

旭カーボン(株) 東区鷗島町

認定制度の詳細は市HPに掲載しています

タイヤやゴム部品などの原材料の製造を行う旭カーボン(株)では、日本貨物鉄道(株)などと合同で、年2回川沿いの清掃を行っています。



「今年10月11日には総勢108名で、線路沿い、工場脇の通船川沿いと遊歩道の計1.6kmのごみ拾いを行いました。可燃ごみ110kg、不燃ごみ20kgを回収し、川沿いがすっかりきれいになりました。この活動により、年々ごみの量は減り、大きなごみを目にするのもほとんどなくなりました。今後も工場の周辺環境をきれいに保ち、ごみを捨てにくい雰囲気づくりを支援していきます。」

安全防災環境課 池田さん

2008年から行っているんだって!



令和3年度決算



家庭ごみ処理手数料(有料指定袋)
収入の使い道

令和3年度は、家庭ごみ有料指定袋などからの収入が約10億266万円ありました。そのうち、ごみ袋の作成経費などを差し引いた約6億3,337万円で、次のような自治会・町内会が行うリサイクルへの取り組みや地域活動などを支援しました。

<主な使い道>

1 資源循環型社会促進策

- ごみ減量化・リサイクル推進及び地域環境の美化
- 古紙資源化の一層の推進(集団資源回収運動費)
- ごみ集積場設置等補助金

2 地球温暖化対策

- 環境教育・環境学習に対する支援
- 防犯灯(LED灯)設置補助金



3 地域コミュニティ活動の振興

- ごみ出し支援
- 地域活動への支援(地域活動補助金)

4 未来投資に向けた取り組み

- 脱炭素社会に向けた人材育成と実践
- 環境優良事業者等認定制度

詳細は市HPに掲載しています



サイチョウの

第2回

ごみと資源の川柳 優秀句発表!

7月号で募集したサイチョウの川柳に425作品のご応募をいただきました。ありがとうございました! その中から審査員に選ばれた優秀9句を4回に渡ってご紹介します。

※9/28付で受賞通知と景品を発送しました



詳細は市HPに掲載

(審査員/コピーライター) 横田孝優

フードロスよりもダイエットのほうが身近かも。視点を変えることで上手に啓発につながった一語だと思いました。

作りすぎ
減らして脂肪も
ゴミも減る

40代 小林ゆみさん

まさに一石二鳥だね!

(審査員/循環社会推進課長) 堀内正徳

ごみの分別を遠慮がちに尋ねる作者と優しく教えるお孫さんの姿が想像できる微笑ましい作品です。

分別を
孫におそわる
8時前

70代以上 秋山正幸さん

ほくもパパによく教えるよ!

問い合わせ | 循環社会推進課 ☎025-226-1391

●次回は、令和5年1月15日(日)発行予定です

●サイチョウPRESSの発行には、有料指定袋の収入が使われています。